



記事を読んで、問いに答えましょう。

解答例

2022年2月18日夕刊

JR東日本は18日、水素燃料電池と蓄電池を電源とするハイブリッドシステム搭載の試験車両「HYBAR1（ひばり）」を、川崎市初の営業基地で公開した。国内初の営業運転に向け

て、3月下旬に南武線の川崎―登戸などで走行試験を始める。水素と酸素の化学反応から生み出された電気ですり、二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）を排出しないため、環境負

## 「ひばり」来月走行試験

# JR東 水素車両を公開



JR東日本が報道陣に公開した試験車両「HYBAR1（ひばり）」は18日午前、川崎市

荷を軽減できる。開発費用は約40億円で2030年度までの導入を目指す。ディーゼル車が走っている地方路線を中心に採用して脱炭素化を進める方針だ。水素は1回の充填（じゅうてん）で140キロ走れるという。公開された試験車両は2両編成で、2号車の屋根に水素タンクを設け、床下にトヨタ自動車の燃料電池車「MIRAI（ミライ）」が使われている電池を置いた。外観は青色をベースにし、水素燃料電池が排出する水のしぶきを表現。シートは緑色を基調に山並みをイメージした。担当者は「クリーンで、これからの時代を担う電車だ」と話した。JR東は2019年度にグループ全体で245万トンだったCO<sub>2</sub>排出量を30年度に半減、50年度には実質ゼロにする目標を掲げている。

①写真の「水素車両」はどんな車両ですか。

（ 水素燃料電池と蓄電池を電源とするハイブリッドシステム搭載の試験車両 ）

②「水素車両」が環境への負荷を軽減できる理由は何ですか。

（ 水素と酸素の化学反応から生み出された電気ですり、二酸化炭素を排出しないため。 ）

③この「水素車両」の外観は何を表現していますか。

（ 青色をベースにし、水素燃料電池が排出する水のしぶきを表現している。 ）

④「水素車両」は今後どうなっていくと考えますか。また、そう考えた理由を30字以内で書きましょう（句読点を含みます）。

<考え>（ ディーゼル車が走っている地方路線を中心に増えていこう。 ）  
<理由>（ 電気自動車と同じように、これからの車両の主流となっていくだろう。 など ）

二酸化炭素の排出量を実質ゼロにしていこうために必要だから。（28字）

SDGsの目標達成に向けて、世界的な重要課題であるから。（28字）

クリーンな車両はこれからの時代を担う電車にふさわしいから。（29字）

など

年 組 名前